



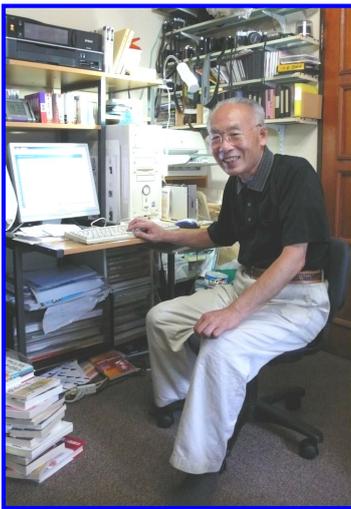
2010年 8月号

リップ ローかる いんふおーめーしょん ペーぱー
L I P (Local Information Paper) とは……

ひらかたしめんはつ ふくし きょういく ぶんか かんきょう
枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの

じょうほう けいさい ちいきみっちゃんくがたじょうほうし
情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。

LIPは8月で五周年を迎えました♪



🍷 [枚方の「共に学び共に育つ」教育は今 (6)] 「たくさんの子の力を合わせてこそ♪」

🍷 [サークル紹介] 「とれぶde畑 つちのこ♪」

🍷 [国際交流] 行った! 見た! 触れてきた!?

自閉症の子連れ♪ ロンドン視察ツアーのご報告 (1) ♪

🍷 [団体紹介] 「NPO法人ハートネット」が、一軒家になりました♪

🍷 [連載コラム] かおりのひとりごと♪ 「没頭力」

🍷 スペシャルオリンピックス 2010 大阪 まだあと3ヶ月♪

🍷 イベント/サークル情報

🍷 編集局より/LIP配布場所/会計報告



「LIP編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913(渡辺) FAX: 020-4665-8668

郵便振替口座 00920-8-120259 (LIP編集局)

枚方の「共に学び共に育つ」教育は今 (6)

これまで、障害のある子もない子も、地域の普通学校で「共に学び共に育つ」教育を大切にしてきた枚方市。ところが今度、初めて支援学校（養護学校）がつけられることになり、議論を呼んでいます。今こそ、枚方が育ててきた「共に学ぶ」ことの意味を問い直したい。市民に思いをききながら、考えます。

枚方の「共に学び共に育つ教育」のなりたちを追いかけている、この連載。いろいろな方に取材を続けるな

「共に学ぶ」って、どういうこと？-⑥

たくさんの子の力を合わせてこそ

かで、わかってきた事実もあります。

連載第2回（2009年12月号）で、私は、“重度”の障害のある子を普通学校に受け入れたのは1971年、開成小学校の重度障害児学級と、五常小学校の肢体不自由児学級が初めてだと書きました。

しかし、実はそれ以前から、いくつかの学校に養護学級（今でいう「支援学級」）がつけられ、“重度”といわれる子も入学していたことがわかりました。また、第5回（2010年6月号）で登場いただいた家高富美子さんは、教師になったばかりのころ、普通学級で障害のある子を受けもたれたそうで、普通学級に在籍する場合もあったようです。

養護学級（当時は「特殊学級」）が枚方の小学校に初めてつけられたのは、1961年。後に重度障害児学級が開かれる開成小学校においてでした（※）。今回は、その学級で担任をされていた谷崎牧人さん（交野市）にインタビュー。枚方の障害児教育のはじめのころの様子をうかがいました。

■ 教え子の死をきっかけにして ■

「学年は1年生から6年生まで、字が読めず、書けない子もいれば、2ケタのかけ算ができて文章が書ける子も、8人の子どもたちがいました」

その時、養護学級がつけられたのは、普通学校のなかで障害のある子が放置されたり、いじめられたりしていたので、支援の手を差し伸べようとしたのだそうです。子どもたちは香里団地、磯島、中宮、光善寺、

楠葉と各校区から通ってきました。

担任は谷崎さん一人ですが、子どもたちは多動でじっとしていません。「窓から飛びだした子を追いかけ回してつかまえて帰ってきたら、（ほかの子も飛びだして）教室は空っぽ。そんな状態が続いて、完全にノイローゼになってしまいました」。

ところが、夏休み中、ある子がちょうちょうを追いかけていて、川にはまって亡くなるという事件がありました。つぐないの意識を感じた谷崎さんは、子どもたちと本気で向かいあっています。

■ 試行錯誤で子どもに合った指導を ■

当時、遠山啓氏の水道方式による算数教育、石井式漢字教育など、障害のある子どもに効果的な教育プログラムがうたわれはじめたころ。それらを参考に、谷

崎さんは、タイルを使って数の数え方を教えたり、小さい黒板に漢字を書かせてみたり、試行錯誤で一人ひとりに合わせた指導を行いました。そのなかで、ひらがなが書けない子も、黒板を使えば、難なく漢字が書けるという発見もありました。

「自分なりに字が読め、書ける。数が数えられる。友だちとつきあえて、電車に乗れる。最小限必要なことを教えて自立させたいと思っていました」

谷崎さんの心にあったのは、障害があっても、学ぶ可能性を豊かにもっている。それをけって見捨ててはならないという信念だったのでしょう。

■ 集団でないとつぐれない人格がある ■

谷崎さんの実践は、後に宮崎隆太郎さんらに引き継がれ、普通学級で障害のない子どもたちと共に学ばせる取り組みが始まっていくこととなります。

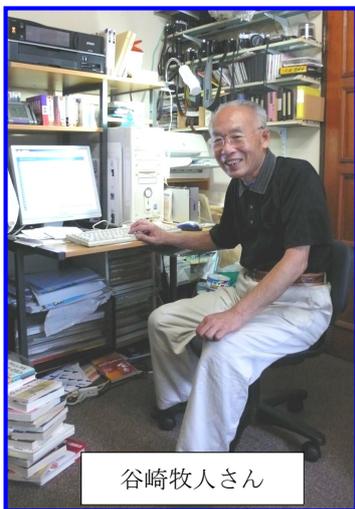
理科の先生らしく実証と体験を重んじる谷崎さんは、理念を先行させて、障害のある子とない子とにかくいっしょの場に入れればいい、という考えには賛成しません。障害に応じた個別の指導で伸びる能力もあると思うし、共に学ぶ教育が進んでいる学校に勤めていたころ、障害のない子が障害のある子を一生懸命に支えながらも、陰では強い差別感をもっているという場面も見てきたからです。

ただ、「集団のなかでないとつぐれない人格がある」と、障害に対する配慮をしながら、やはり共に学ぶ環境を大切にしたいという思いがあります。

「たくさんの子どもたちの力を合わせてこそ、達成感や成功感が生まれる。いろいろな子がいろんなことをしゃべり、好きなことをしているなかで道ができていく。学校とはそういうものだと思うのです」

文・写真/フリーライター・合田享史

※中学校は1960年、第一中学校に初めてつけられています。参照：枚方市教育委員会『枚方の教育—教育委員会発足30周年記念誌』



谷崎牧人さん

喜
怒
哀
楽

収穫した野菜を食べたら思った以上に美味しい。
過酷な天候、虫刺され。
枯れてしまった苗。
みんなと作業、日々成長する野菜。



しています。
その他の日程は曜日を定めるなどして、2～3日に1度は畑をのぞくようにしています。
◆うれしいできごと
野菜を買いたい！ という方が現れました。
また、寝屋川にある「とうりゃんせチャレンジショップ」で行われている「みんなのあそび場ワン」にて野菜の販売に挑戦。ほぼ完売しました♪

◆なんで畑を??
自分で食べるものを自分でつくりたい!
体にも環境にも優しい野菜作りをしたい!
年齢やしょうがいにかかわらず、みんなて農作業を楽しみたい!
収穫した野菜でイベントを企画したい!
NPO「みんなてつくる学校とれぶりんか」で6

「売れるかな?」「どのように販売する?」「スーパーではどうやって売られてる?」とわからないことがいっぱい不安でしたが、通りすがりの方やチャレンジショップに来られた方が「買うよー!」と声をかけていただき、とってもうれしかったです。

とれぶide畑 ~つちのこ~

年ほど前から言っていた夢が、「夢」でなく「とれぶide畑~つちのこ」という形で現実になりました。

想いはいっぱい、ですが、「使っていない農具をください」「余った苗や種をください」「ノウハウを教えてください」
ないないづくしで始まりました。



◆いつから、どんな人がやってるの?
地域の方にご協力いただき、枚方市内の中高生や若者が中心となって、今年の4月から畑作業をしています。
◆場所はどこ?
御殿山駅から徒歩20分、淀川の堤防の近くです。
◆どんな野菜をつくる?
ナス・ミニトマト・キュウリ・ゴーヤ・サツマイモ・シソ・まんがんじトウガラシ
いただきもの:ねぎ・モロヘイヤ・キウイモ・シマオクラ
お花:ホウセンカ・ひまわり
◆作業はいつ?
基本的に土日のどちらか早朝に集まって畑作業を

◆農作業をしてみてもみんなて意見を出し合っ作業をしていくのがとにかく楽しいです。ほとんどの野菜はスーパーでしか見たことがなかったので、こんな風に育つんだと初めて知りました。

また、天候にすぐく左右されて、野菜を育てることの大変さを実感しています。
日照りや暴風、豪雨でもたくましく育っていて、畑に行くたびに感動します。
化学肥料を使わないよう試行錯誤しています。

農具や苗をたくさんの方にいただき、感謝でいっぱいです。

- 野菜の成長を見守ることのワクワク感がたまらない。
- 試行錯誤して作業し、実際に体験して初めて得られる知識があった。
- 苦手な野菜が食べられるようになってうれしい。
- 自給自足を目指してがんばりたい。
畑作業の様子はこちらのブログにて紹介しています。

「みんなてつくる学校 とれぶりんか 農業部」
<http://zz.tc/hatake>

※問合せ・連絡先 fuuchan318@msn.com

文:馬場宣一・小森ふう(とれぶりんか会員)

7月1日～9日、(社)子ども情報研究センター主催の「イギリス・ロンドン視察ツアー」に、中三・自閉症の息子と共に参加しました。ロンドンでの滞在は、七日弱。二日半の観光の後、子育て支援や幼稚園、小学校等の施設や団体を見学してきました。今号では、視察三日目午後に訪れた障害児者の団体二つについて、レポートしようと思います。

行った! 見た! 触れてきた!?
自閉症の子連れ♪

◇Alliance for Inclusive Education (ALFIE) (インクルーシブ教育連合=仮訳=) ◇

「インクルーシブ教育」とは、要は、障害を持つ子どもに対して、必要な支援を与えながら、みんな一緒に共に学ぼう、というようなこと。創立二十年の団体・ALFIEは、すべての子どもが皆同じ教育システムの中で教育を受けられるようにとの願いのもと、国の教育システムを変化させようと共に活動する個人、家族、グループのネットワークです。

いくつかの団体が入っている建物の受付で取次ぎを頼むと、「ようこそ」と出迎えてくれたのは、茶色い短髪と同色のおしゃれな眼鏡をかけた、代表のタラ・フラッドさん。肘の手前までしかない両腕で器用に書類を抱えて、部屋に案内してくれました。介助犬・オーラを連れた車椅子のケビンさん、重複障害を持つ子のお母さんであるリズさんと、通訳を交えてのお話を始めると……。

「エレナちゃんがいるのおかげで、怒りっぽい性格だったうちの子が、落ち着いて学校に行けるようになった、と言われました」と、リズさん。身体と知的の障害を持つエレナさんは、11歳まで「特別学校(日本の支援学校にあたる)」に通っていましたが、中等学校は普通の学校に進学。お友達に囲まれて、楽しくイキイキ学んでいる写真を見せてもらいました。まあ、私達の町でも、そっくり同様な話が……。豊中で保育士をしているNさんと私が身を乗り出して話し出すと、「同じような話を、いっぱい聞きますよ～」とリズさん。ああ、本当に、子ども達ってそうなんだあ……。

英国では、メインストリーム(主流)と呼ばれるいわゆる普通の学校に、サポートをつけて障害を持つ子が学ぶ仕組みや、特別学校とメインストリームの学校の間での交流が進められているようですが、「まだまだこれから」。特に今政権が変わり、新しい首相がどのような教育政策を打ち出してくるのか……。力強く確信に満ちて語るタラさん達の姿を見て、同



ALFIEでのミーティング

じ思いで、ふつふつと身の内に勇気が湧いてきました。

◇Council for Disabled Children (CDC) (障害を持つ子のための協議会=仮訳=) ◇

貸し切りバスで次に向かったのは、ALFIE代表のタラさんも理事を務めているCDCという団体。すらりと背が高く、タカラヅカのように美しい、代表のケイト・マーティンさんが、休日返上で私達の訪問に対応してくれました。

CDCはイングランドの障害を持つ子のための連合体であり、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドとも連携して、障害を持つ子や特別な教育的ニーズ(SEN)を持つ子ども達とその家族のために国が行う政策に影響を及ぼすために活動を行っています。特に力を入れているのが、子どもから大人への「移行期」のサポートです。障害児として様々なサービスを受けていたのが、大人になると途切れてしまう、それを続けて同じようなサービスを受けられるようにしていくのです。また、障害を持つ子の社会参画のために、CDCにかかわる障害を持つ子や若い人達が集まり、「こんな政治をして欲しい」との声を集め、『障害児のつくった、改革のための宣言文(マニフェスト)=仮訳=』と題した冊子を作り、三年前から毎年子ども達自らの手で国会議員に届けています。

ケイトさん自身、子どもの頃の親友の弟妹が重い障害を持っていて、一緒に遊び接する中で、「障害を持つ子も持たぬ子も同じ」という感覚がごく普通だったということ。「地方ではまだまだ、障害を持つ子はあまり社会に出られない」と日本の現状を話すと、「こちらも同じ。ロンドンでは都会で進んでいるけれど、地方はまだまだ」など、思わぬ話が聞けたり。ビルが閉まる午後7時ぎりぎりまで、熱く語り合いました。(次号に続く)

(とよたかあきえ)

ロンドン視察ツアーのイン報告へ

『NPO法人ハートネット』が、一軒家になりました♪

先日、6月21日にNPO法人ハートネットは村野西町の一軒家に引っ越しました。

4年前の9月5日、在宅で子育てをしているお母



育や親子カフェを続けてきました。保育士の資格も調理師の資格もないまま、出来ることを探しながら、色々な方に指導してもらいながらの運営でした。それでも利用してくれたお母さんに「ここがあって良かっ

「NPO法人ハートネット」が、一軒家になりました♪

さんに、少し楽をしてもらいたくて開いた親子ルームは、ハートネットで訪問の仕事をしているスタッフ4人で、慣れない一時保



たです。」と時々言ってもらえるのが、嬉しくて、利用者さんに続けさせてもらった親子ルームでした。

今回の引越して、親子ルームは少し広く

なり、出来る事も広がりました。元保育士で絵本講師でもある管理人「ひまわりおばさん」の絵本や手作りおもちゃも沢山あります。それらの力を借りて、少しずつ成長していきたいと思います。

ただ、現実にはスタッフの不足や広報の仕方、お母さんたちへの支援の仕方など、問題山積です。何かから手をつけたらいいのやら…。まだまだ小さな種のような頼りない存在です。これから地域の子育て支援の民間の場所として小さくてもしっかりとした花を咲かせられるように、続けていかねばと思っています。

LIPをご覧の皆様、ぜひ一度遊びに来てください、そして、在宅で一人で子育てしているお母さんが、少ししんどそうなら、『ハートネット』がある事を伝えてほしいと思います。そんなにたいそうなことは出来ませんが、ゆっくり誠意をもって接し、その人にとって、前の事務所1階同様、ほっとできる場所になりたいと思います。よろしくお願ひします。

中谷 (ハートネット)

☆ハートネットの親子ルーム☆

■お留守番ルーム (一時保育 100円/10分)

月～木曜日 9時～15時

■ほっとルーム (親子への部屋開放入室料 200円)

月～水曜日 10時30分～14時30分

※子ども服交換会や料理教室・手作りおもちゃの日・絵本教室などあります。(ハートネットだよりにて確認してください。)

※炒りたて挽きたてのコーヒーやおにぎり、パンなどありますが、食べ物もちこみもOKです。

■ホームページ/mixi

<http://homepage3.nifty.com/npohartnet/>

<http://blogs.yahoo.co.jp/heartnetkids>

※mixiは「NPOハートネット」で検索お願いします。

■近日のお勧めイベント 夕涼みカフェ

日時：8月21日(土曜日) 18時～20時

内容：本格フィジーカレー「TOTOKA」を用意しています。

他に、花火や紙芝居などを企画中です。

費用：大人1,500円/子どもは無料です。親子参加です。お父さんもどうぞ。

■場所：村野西町1-27 ■電話：072-805-4373

かおりのひとりごと かおりのひとりごと

<http://kaori-essay.seesaa.net/>

野添かおり 枚方市在住。神経難病脊髄小脳変性症の疑いにより、17歳の頃より車椅子生活。独自の感性によるたとえで言葉を紡ぎ、鋭いながらも柔らかさをもって斬り込むことを目指す。世の中を、そして自分自身を。

「没頭力」

「集中力すごいね」と言われる時、私はよく「めんど」と思う。だって、集中なんてしてないんですもの。

思えば今まで、集中したことがなんてあまりない。集中なんて一時(いつ)ときのはりばて。集中なんて長く続くものではない。だからあまり重要視していない。

「じゃあどうしてきたの?」って、没頭さ。

やればできるようになる↓できるようになるれば楽しくなる↓楽しくなればまたしようと思ふ、そんないいサイクルを作ってやってきたのさ。

「没頭」って聞こえは良くない。だからあまり表には出ないし褒め(すすめ)られることはない。「集中」と違って。

だけどその二つ何が違うの?って。

意識をしていれば集中

意識をしていなければ没頭

それだけ。

だったら意識に関係なく続く「没頭」をしている方がいいんじゃない? 「集中」では意識が切れてしまうことはあるけど、「没頭」ではそれがなく、いつまでも続くんですもの。

「集中」を否定はしない。それも必要なことではあるから。だけど私が推奨(すす)めたいものは、それは「没頭力」。

スペシャルオリンピックス2010大阪 まであと3ヶ月!



枚方市内でも雨の中行われた「トーチラン」 (6月26日)

今年11月5日～7日の3日間、夏季大会が大阪府内10の会場で開催されます。

スペシャルオリンピックスとは…知的障害者のスポーツ活動のことをいいますが、スペシャルオリンピックスでは、何故『ス』がつくのかといえば、スポーツ大会ではなく、組織も合わせて、また、いつもどこかで、活動している事から、オリンピックスという複数形になっています。

競技は、夏季大会12種目、冬季大会10種目と合わせて22種目(2010年6月現在)で、競技ルールとしては、種目予選では、性別、競技能力のレベルによって組分けを行い、各組ごとに決勝を行います。また、競い合う事により、個々人の成長を刺激する事を優先しているので、全員を表彰します。

また、同じアスリート同士、周りのコーチやボランティアの人たちと一緒にいるスポーツ活動や、合宿する事で、大きな絆が出来ると思います。

これからも、スペシャルオリンピックスをよろしくお願いします。

(LIP編集部 落合)

イベント・サークル・ボランティア情報

【参加者募集】 「カホンワークショップ」

岡山県西粟倉の問伐材を使って、中南米の打楽器「カホン」を作りますか？ キットを使うので、親子・小学生以上の子どもの参加もできます。大人も参加多数。インテリアとしても素敵ですよ。

日時：8月17日(火) 13～15時

場所：樟葉生涯学習センター美術室

定員：20組

参加費：5000円(材料代)+2000円(お茶代)

※申し込み、問い合わせ

私設留守家庭児童会「隣(りん)」 田邊 072-850-4992

mikan-tnb123@pdx.ne.jp

第2回 無年金障害者「年金」110番

当会は、無年金障害者の解消と無年金障害者を生み出さない制度改善を求めて活動を続けています。

その中で、障害年金のことが分からない、初診日が確認できないなど申請ができずに困っておられる方からの相談が少なからず寄せられています。

その要望にお応えするために、電話相談を下記の通り行います。どうぞお気軽にお電話でご相談ください。

■日時：2010年8月28日(土) 10:00～15:00

■電話：06-6367-0171 (代表)

■主催 無年金障害者の会

<http://www7.plala.or.jp/munenkin/>

子育て支援拠点事業「くるみハウス」

☆月・水・金曜 10時～16時ならいつでも来室可。

☆対象は生後2カ月以降未就園までの児と母親

☆昼食は陰陽料理の重ね煮メニュー。お粥あり

☆場所：枚方市伊加賀北町5-13コーポ西森403

(枚方公園駅徒歩1分)

TEL (072)807-4704

詳しくは<http://npo-kurumi.net>

入会金6000円月会費3000円体験参加1回のみ1000円

入会しなくても集まることができる午後の企画あり。

NPO法人子育てネットくるみの会

代表 助産師・黒田

フリーマーケット

■2010年9月29日(水)

10:00～15:00

フリーマーケットでは、衣類、食器、小物などなど販売します。

思わぬ掘り出し物があるかも？

リニューアルオープンしキレイになったお店です！

無添加石けん商品たち・手作り品も喜んでいるようです☆

ぜひ、お気軽にお立ち寄りください♪

NPO法人パーソナルサポートひらかた

障害者労働センター

枚方市中宮山戸町10-12-101

TEL 072-848-0508 FAX 072-848-7920

Mail pa-so@nifty.com

担当：今井・平岡

『国際コルチャック会議2010』参加公演 音楽劇『cherry ～愛と平和の実を結ぶもの』

・日時 8月8日(日) 開場12:30 開演13:00

・場所 「大阪人権博物館」リパティおおさかホール

〒556-0026 大阪市浪速区浪速西3-6-36

JR環状線「芦原橋駅」下車、南へ約600m

JR環状線・大和路線「今宮駅」下車、西へ約800m

大阪市バス・赤バス「浪速西3丁目」バス停下車、西へ200m

南海夕見橋線「木津川駅」下車、東へ300m

・チケット 大人 当日1,500円 前売り1000円

高校生以下 当日800円 前売り500円

障害者の方の介助の方は無料です。

・内容はコルチャック先生と200人の子ども達をベースにしたオリジナル作品です。

・問い合わせ メール：toreburinkagekidan@yahoo.co.jp

電話：090-4289-5317 (中川 雄二)

・詳細 <http://zz.tc/0808>

【参加者募集】 アル問会 8月 <定例会>

枚方アルコール関連問題を考える会(略称：アル問会)は枚方地域の市民活動団体です。アルコール関連問題を学習されたい方ならば、どなたでも参加できます。一般市民、アルコール依存症からの回復者、介護関係者、行政関係者、病院関係者、市議会議員、学生、宗教関係者、多彩な方々が参加されています。

■日時 8月12日(木) 18時30分～20時30分

■講師提供者 西川社労士事務所 西川好和 氏

テーマ 困ったときの年金相談(アルコール依存症と障害年金)

■参加費用 100円

■場所 枚方市サンプラザ生涯学習市民センター5階 第1会議室

枚方市岡東町12-3 072-846-5557

連絡先 090-5167-4600 (医療ソーシャルワーカー 菊地)

* 詳細は上記連絡先まで、お気軽にお問い合わせください。



LIPは、次の場所に置かせていただいています。

枚方市

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3Fウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [招福寺南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティーカフェ ラテール [西禁野 1-3-27 禁野口バス停前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [長尾元町 6-39-15 lilian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シヤルム [南楠葉 1丁目 2-16 くずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ たこやき・おこのみ けんちゃん [大峰南町 7-1 スーパーワカバ内 072-859-4155]
- ★ 街かどデザインハウス 藤阪愛逢 [藤阪元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 楠葉店 [楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ヘアサロンかむら [長尾東町 3-1-4 072-859-1601 (予約優先)]
- ★ ソーイングの店 みなよし [香里ヶ丘 3-11-3-4 072-854-0756]
- ★ 喫茶&アンティークショップ Squirrel(スクワール) [宗谷 1-1-1 072-859-2475]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [南楠葉 1-30-1 エクセレントビル 203 号室 072-856-9177]
- ★ 割烹 千鳥 [岡東町 12-13 ひらかたさんぷらざB1F 072-843-8114]
- ★ WAVE34(ボウリング場) [田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアスタジオほべほ [南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ (財)枚方市文化国際振興団 [岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 食育ステーションまき [枚野本町 2丁目 19-2 072-397-2111]
- ★ 社会福祉法人 心愛 心学塾作業所 [大峰元町 1丁目 21-5 072-859-9194]
- ★ 紅茶専門店VIE [南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャノース [枚野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人ハートネット [村野西町 11-27 072-805-4373]
- ★ クッキー工房おれんじはうす [交北 3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 全労済大阪府本部 共済ショップ枚方 [大垣内町 2-10-4 宮村第三ビル 3F 072-804-5550]
- ★ 健康・福祉プラザ 助さん・たくさん [大峰元町 1-1-1 072-858-8565]
- ★ エステのお店 ジョセフィン [枚野南町 1-23-5 枚野南町デパート 2F 072-851-8727]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・メディア [堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ マイウェイひらかた ワーク草笛 [藤阪天神町 3-1 072-808-2031]
- ★ ミュージック・ケアハウス「花音」 [川原町 3-1 クラウンビル4階 072-841-8822]
- ★ たかしま歯科医院 [津田駅前 2丁目 17-1-108 072-896-1180]
- ★ 満潮ベーカーリー 楠葉店 [町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 枚方市野外活動センター [穂谷 4550 番地 072-858-0300]
- ★ 社会福祉法人こども会「清水園」 [津田 873-2 072-896-1600]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [車塚 1-1-1]
- ★ 三代目たくちゃん ピーコ [枚野南町 2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKHOUSE キャラメル [枚野南町 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚野南町 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ NPO法人 パーソナルサポートひらかた [中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
- ★ MogaJogaDining 枚方宿 [堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [宇山町 4-8 072-866-5667]
- ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 ぼひるす [大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ ぶらっとホーム・すかほらひかし [藤阪東町 3-1-11 072-859-5005]
- ★ とくふろホーム [大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ Live Space むじやき [新町 1-3-17 2F 京阪マーズ協会内 072-396-6286]
- ★ みんなでつくる広場「ちよこ」 [楠葉野田 2-30-8 080-4078-2802]
- ★ スワレイ枚方南 [津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ 本とカフェ Benedetta [町楠葉 1-6-25 寺山ビル2F 080-6115-8133]

そのほか

- ★ 寝屋川市立市民活動センター
- ★ フレッシュベーカーリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ 寝屋川市立ふれあいプラザ香里 [寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里路店 1F 072-835-3335]
- ★ ヘアサロンおおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024 (予約優先)]
- ★ たこやき屋 中角 [交野市倉治 3丁目 52-1 072-891-4022]
- ★ レストラン ジュリア [交野市私部 3丁目 11-3-2 072-891-2288]
- ★ NPO法人 ゆいむ(結夢) [交野市私部 7丁目 12-58 072-810-7880]
- ★ 作業所クローバー [交野市私部 5丁目 9-3 072-894-4822]
- ★ えんであら村作業所 [交野市天野が原 2丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産施設 ミルキーウェイ [交野市天野が原 2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所 市長公室 [交野市私部 1丁目 1-1]
- ★ きさい植物園ファンクラブ事務局 [交野市私市 7-19-14 072-894-0840]
- ★ わくわく科学館 [交野市私市 6-10-2 080-3819-7292]
- ★ 龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター [京都市伏見区塚本町深草 67 075-645-2047]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町費田棚戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ 福山すこやかセンター内 ボランティア活動センター [福山市三吉南 2-11-22 084-928-1346]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市敬明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]

移動配布所

- ★ ファンバルクイナ音楽隊 一歩前出張音楽隊 [funbal@mail.goo.ne.jp 090-6055-8312]

いつも応援ありがとうございます！

LIP 応援団

渡辺洋一郎さん

LIPを継続して発行していくために、LIP応援団を作りました。一口2000円です。応援団員には以下の特典があります。

★LIP裏表紙に応援団員のお名前掲載！(希望者のみ、匿名も可です)

★LIPの郵送サービスします！

1口で1年間郵送します。

(希望者のみ、複数回数も歓迎です)

■郵便振替 00920-8-120259(LIP編集局)

■連絡先: lip@love-dugong.net

LIP会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
30774	前号から繰り越し
1	銀行利子
2000	応援団
▼2320	郵送代
▼5311	7月号印刷代
25144	計(次号へ繰り越し)

【お詫びと訂正のお知らせ】

7月号掲載の「エッセイサークル文文」紹介記事中の講師紹介で誤記がありましたので、お詫びして訂正します。

(正) エッセイ・サークル(叢)の現講師

(誤) エッセイ初級(叢)の現講師

★LIPは8月でちょうど創刊五周年を迎えることができました♪正直、5年間も途切れることなく発行できるなんて思ってもいませんでした。書いたり読んだり、印刷や採り込み、配布などで働いてくれたみなさんの思いの賜物だと思えます。

ささやかながら、5周年の感謝のお茶会を行います。

■8月28日(土) 15時～ NPOセンター
編集局メンバーの手焙煎コーヒーでもてなしする予定です。ぜひ、覗いてみてください。
(w)

表紙下段イラスト：平井由恵